

取組実績の概要（2ページ以内）

本事業では、学生たちの社会と学びを自ら結びつける力を育成するため、新しい長期学外学修プログラム（以下「Expanding Your Horizons (EYH) プログラム」という。）の開発を中心に、学内体制の整備からプログラムの充実、学生の参加を促すための学習環境の実現等、後述する取り組みを行ってきた。

1. 「Expanding Your Horizons (EYH) プログラム」の開発・構築

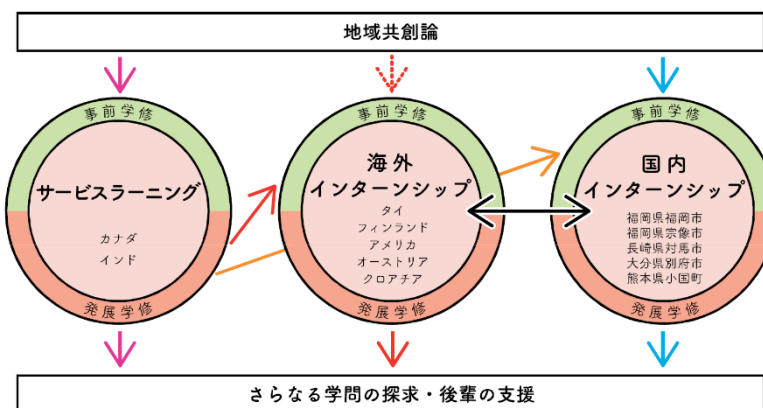
「EYH プログラム」は、日本国内又は海外で長期（1ヶ月以上）にわたる学外活動を通して、主体的な学びの重要性に気づき、その主体的な学びを修得・実践できる人材へと成長させることを目的とした教育プログラムである。

国内外の各地域において社会貢献活動などを中心とした活動を含むプログラムに参加、又は企業などでインターンとしての就業体験を通して、学生自身がこれまで得てきた自身の知識と現実世界を結びつけて捉え、理解し、行動へ自ら結びつけることにより、グローバルかつ地域貢献に資する人材となることを目指している。

「EYH プログラム」は、フィンランド、オーストリア、クロアチア、インド、タイ、アメリカ合衆国、カナダ、福岡県、長崎県、大分県、熊本県の計11の国と地域において、活動を行ってきた。

この「EYH プログラム」の質を確保するために、地域の抱える問題を捉え、学外での学びの重要性を理解することを目指す科目である「地域共創論」を新設・開講した。また、学生の学びを深めるため、1プログラムにつき15時間以上の事前・事後学修を複数の教員が参加して実施した。このことにより、学生は対象となる地域の課題に対して視野を広げて捉え、積極的な活動が実施できるようになったと考える。また、すべてのプログラムごとに主体的な活動を必要とする課題を設定し、その活動を通して、学生自身が主体的学びの重要性に気づき、主体的学びの修得と実践を実現することができるよう構築した。

「EYH プログラム」に参加した学生は、このプログラムの参加が大学におけるその後の学習、研究への意欲に大きく貢献している等の評価を行っており、学生の学修観に大きな変化をもたらすプログラムとなったと考える。



EYH プログラム フローチャート

2. 既存プログラムの充実と多様な長期学外学修環境の整備

「EYH プログラム」の構築に加え、本学における既存の1ヶ月未満の海外語学・文化研修や交換留学プログラムについても、研修期間の長期化及び協定締結校（交換留学先）の拡大を継続して進め、大学全体の長期学外学修プログラムの再構築及び充実を図った。その結果、R1年度において、「EYH プログラム」に



福岡女子大学の学外学修プログラム

おける 23 のプログラム（海外 9 プログラム、国内 14 プログラム）に加え、協定締結校（交換留学先）が 6 大学増の 34 大学、長期の海外語学・文化研修の 3 プログラムから構成される長期学外学修プログラムの実施環境が整備された。

### 3. 学事暦の工夫（クォーター制の導入）

H30 年度から学部全体にクォーター制を導入し、学生がギャップイヤーを活用して多様な長期学外学修を実施しやすい学事暦を実現した。さらに、夏季及び春季の長期休暇を最大に活用できるようにするために、可能なかぎり祝日授業を行う年次授業計画が組まれた。

### 4. 本取組のための組織

「EYH プログラム」の新たな取り組みの企画・実施・内容及びその成果に関しては、大学教育加速再生プログラム（AP）の推進に特化した学内機関として AP 推進会議が設置され、学内の他の組織との連携を図るとともに、プログラムの評価・改善について集中的に審議・検討された。また、大学教育加速再生プログラム（AP）事業の事業推進部門として事業をサポートする AP 推進室（専任教員 1 名、スタッフ 2 名）が設置され、事業の運営をサポートするとともに、「EYH プログラム」及びその他のプログラムとの調整・実施について必要なサポートを継続して行った。

### 5. 事業成果及び地域と連携した大学教育の普及

本事業「EYH プログラム」の取り組み・成果を地域社会へ還元し、地域と連携しながら大学教育を実施してくために本学ホームページ及び広報誌等で活動内容及びその成果を継続して発信した。

また、学内の学生のみならず、社会のより多くの人々に長期学外学修の重要性を伝えるために、H30 年度には、本学・長崎短期大学・宇部高専の 3 校合同シンポジウム（「キャンパスを離れて学んだ私たちのビフォー・アフター」H30. 11. 3）、R1 年度には EYH プログラムの成果報告会（「私たちのラーニング・ジャーニー」R2. 1. 22）を公開で開催し、学生による成果発表・パネルディスカッションを通して、長期学外学修によって学生がどのように成長できたかを学生の目線で発表した。また、テーマⅣ採択校が協力して書籍「長期学外学修のデザインと実践」（東信堂）を出版し、その中で本学の長期学外学修の取り組み及び成果を記載した。R2 年 3 月には「Expanding Your Horizons プログラム 2017-2020 報告書」（<http://www.fwu.ac.jp/gapyear/>）を作成し、ホームページで公開した。

#### 【必須指標の達成度】

	平成 27 年度 (起点)	令和元年度	
		目標	実績
長期学外学修プログラムに参加する学生の割合	4.1%	31.0%	12%
長期学外学修プログラムを経た学生の成績評価	3.1	3.0	3.2
退学率	0.9%	0.2%	0.9%
進路決定の割合	90.4%	95.0%	93.2%
学生の授業外学修時間	5~10 時間	21.0 時間	9.4 時間
学生が企画する活動数	0 件	20 件	33 件